



カラマツの間伐材を活用したウヨロ小屋

NPO法人ウヨロ環境トラストの活動 守るう里山の豊かな自然

6月は環境月間。自然に恵まれた白老町ですが、山野に分け入ってみると荒廃が目立ちます。石山のウヨロ川流域で住民自らがカラマツ人工林を購入し、一度も手入れされた事の無い林を除間伐して元気によみがえらせ、自然学習と環境教育の体験場所としています。そのNPO法人ウヨロ環境トラストを訪ねて、自然環境保全と環境学習の活発な活動を紹介します。

この人工林と周辺の自然環境に着目し、有志で資金を募りカラマツ林2・2畝を購入したのがトラストの森です。有志自らが間伐や除伐、枝払いを進め、木材生産と自然再生を目標にした育林で明るい林の再生をめざしています。また周辺の私有地8・8畝も所有者の承諾を得て、保全協定地として森づくりを進めています。間伐さ

白老町の石山地区を流れるウヨロ川。胆振の最高峰ホロホロ山を水源として、河口付近で白老川と合流し、太平洋に注ぐ河川です。上流はホロホロ湿原の山岳地帯で、中・下流域は民有林が広がっている里地・里山と、牛馬の牧場が展開されています。民有林の多くは昭和30年代に植林されたカラマツの人工林ですが、植樹後は一度も手入れされず、密集して薄暗い荒廃した林が大半です。また荒れた林は切られ、砂利採取地になっている所もあります。

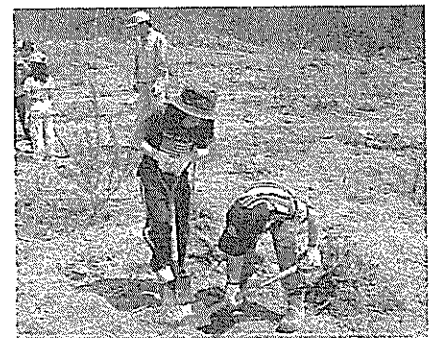


荒廃した林が除伐、間伐でよみがえる



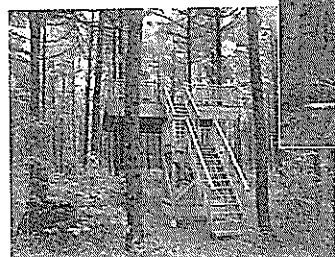
ウヨロ川で川遊び体験

れた木材を活用し、ウヨロ小屋が建設されて拠点施設に、次に焚き火ができる東屋。さらに生きた木を柱にしたツリーテラスや環境学習の教室と作業所を兼ねたウヨロドームなど施設が次々建てられました。トラストの森では育林の体験や植樹、青少年を対象にした自然観察やエコキャンプなど環境教育が展開されています。



砂利採取跡地に植樹

自然体験と環境教育の拠点としてツリーテラスを整備、ツリークライミングにチャレンジ



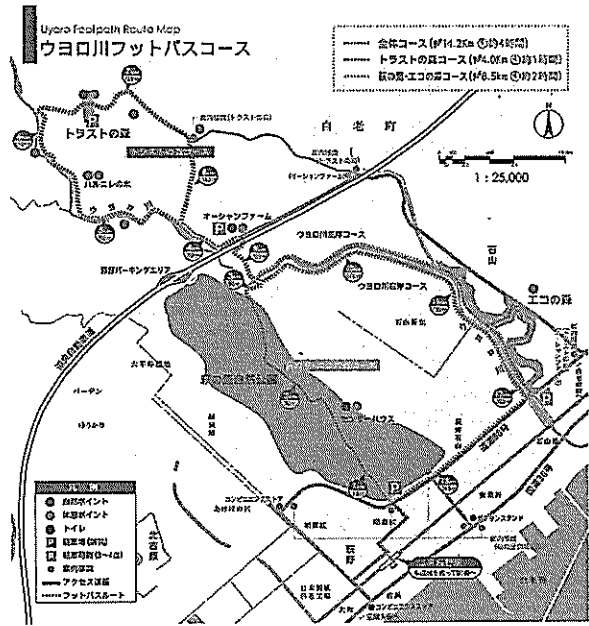
「木育」自然体験、さらに今年には子ども向けのデジタル教材「北の里山事典」のホームページも作成されています。

ウヨロ環境トラストは平成16年10月にNPO法人の認証を受け特定非営利の活動として環境ボランティア活動やナショナルトラスト活動を展開しています。また森づくりや環境学習を柱に自然環境の保全活動を進めています。胆振支庁の呼びかけで緑と水の保全協議会に積極的に参加。ウヨロ川とアヨロ川で植樹と育樹やサケ稚魚の放流を進める水環境サイクルネットワーク事業に協力してきました。また、ウヨロ川流域で自然、文化、産業を体験、観察できるウヨロ川フットパス（遊歩道）の整備や森と親しむ

マップを片手に、ウヨロ川フットパス
森林・牧場・湧水・ふ化場・サケ産卵

フットパスはイギリスが発祥の地です。田園風景の中を歩き、その地域の自然・歴史・文化・産業にふれることができます。ウヨロ環境トラストはトラストの森、萩の里自然公園、ウヨロ川、エコの森を結ぶ全長14キロのルートを設定してウヨロ川フットパスと名付けました。道内外の自然愛好者を招いて披露し、散策路を整備して看板を設置、昨年はマップをつくり、広く利用をPRしています。

白老の典型的な里山である萩の里自然公園が起点です。カラマツ人工林のトラストの森周辺には自然林が残り、隣接してタプコプ山（こぶ山）があります。山すそで地下水がわき水となり、石山のサケ・マスふ化場はこの湧水を活用しています。水路はふ化場からイレスナイ川となつて、白老牛や引退した競走馬の牧場を横切り、ウヨロ川に注ぎます。この付近で秋にはサケがたくさんそ上し、川床の砂利を掘って産卵します。下流には旧ウヨロ川の河畔林を残すエコの



ウヨロ川フットパス・マップ（上図）とウヨロ川沿いの散策を楽しむ人たち
※マップは白老駅ほかで発売中です。

森があり、ここでも植樹や自然を復元するビオトープが試みられています。ウヨロ川フットパスを一巡すると、白老の原風景や自然と共に、風土に根ざした産業にふれることができます。ウヨロ環境トラストが作成したマップを片手に、わが町の再発見を試みてはどうでしょうか。

北の里山事典で、自然体験や環境教育を支援

ウヨロ環境トラストは今年3月、子ども向けのデジタル教材として「北の里山事典」を作成



しました。「里山自然図鑑」と「里山遊び図鑑」のほか「里山マップ」「里山の文化」の4項目で構成されています。「自然図鑑」は環境調査の成果を盛り込み、「遊び図鑑」はエコキャンプなどの実践に根ざして作成

白老東高校放送局の部員がビデオ撮影で協力しました。自然マップではウヨロ川周辺地域を3D画像でふかんで、上空から鳥の目線で眺められます。里山の文化では炭焼きの歴史など産業や山神サマの文化も学べます。

北の里山事典のアドレスは <http://www.shiraon.jp/sat/yamazaten> です。インターネット接続ができない人にはCD版（限定500枚）があります。

ウヨロ川中下流域の里山環境調査報告書

「北の里山事典」を作成する過程で2005年秋から一年間、

自然環境調査が実施されました。ウヨロ川やトラストの森周辺の動植物をリストアップし、観察対象としての特徴を記したものです。

報告書では三百四十三種の植物、三百二十一種の昆虫、八十七種の底生動物、八十種の鳥類、十五種の哺乳類、十四種の魚類が確認されました。各項目で多様な種が確認されましたが、小型哺乳類（野ネズミ）の調査では里山の草刈りを実施した個所での種構成は単純で生息数は少ない結果となりました。

また、環境省や道が絶滅危惧種に指定している十五種の希少種が確認されました。植物はノダイオウ、ホザキシモツケ、昆虫はケマダラカミキリ、ニホンセリモドキ、魚類はシベリアヤツメ、ヤチウグイ、サクラマス、鳥類はオオジシギ、ヤマセミなどがあげられます。

ウヨロ川フットパス・ウオーク6月24日（日）午前9時、萩の里自然公園駐車場集合。参加無料。昼食持参。雨天中止。午後3時解散。

ウヨロ環境トラストでは、森づくりやフットパスの草刈りなどの環境ボランティア活動に多くの方の参加を呼びかけています。問い合わせは事務局の河野功さん電話（85）2852です。